



MBA/大学院 インタビュー対策プログラム

インタビュー突破のコツは「伝える姿勢」「自己表現力」「ストーリーテリング」

エッセイ等の書類では、限られた設問や文字数の中で、あらかじめ練り上げた内容を伝えます。一方、インタビューでは、面接官との直接のやり取りを通じて、書類だけでは伝えきれない出願への熱意や自分ならではの強み、人物像を伝えることができます。インタビューの意図を正しく理解し、自分の経験や強みを効果的に伝えられるよう、十分な準備を重ねることが重要です。皆さんが自信を持って本番に臨めるよう、インタビュー対策を全面的にサポートします。

日本人受験者が直面する3つの壁

「自己アピール」への文化的な抵抗

- 日本のビジネス文化では成果を個人のものとして語ることが少なく、自己アピールに慣れていない方が多くいます。面接官が求めるのは「あなた個人のリーダーシップと判断」です。

英語での「簡潔な回答」の難しさ

- インタビューは多くの場合30分から1時間以内に複数の質問が繰り返されます。限られた時間の中で回答するためには、日本語的な文脈説明型の回答スタイルは英語インタビューでは逆効果になることがあります。

「ストーリー」として経験を語る訓練不足

- 面接官は出願者に具体的なエピソードをストーリーとして語ることを期待しています。豊富な経験があっても「効果的なストーリー」に変換する練習をしていない方がほとんどです。

◆アゴス・ジャパンのMBA/大学院インタビュー指導の特徴◆

- トップスクールの審査基準/審査官の視点を元にした徹底指導
- 各校のインタビューの傾向と、出願者一人ひとりの特性を重視した個別指導
- 日本人出願者特有の課題を熟知したコミュニケーション指導

セッション内容と回数	効果的なカリキュラム例 概要
1セッション目 (インタビューガイダンス)	現在のインタビュー力と出願校ごとのインタビュー形式・出題傾向を確認したうえで、個々の状況に合わせて、今後4回のセッションを効果的に進めるためのプランを策定します（戦略指導）。 ・事前にマニュアルをご確認いただき、基本的なインタビュー質問への回答アプローチを予習ください。 ・インタビュー戦略セッションでは、現状把握と今後の戦略策定のため、事前に対策を希望する学校のリストとレジュメをご用意のうえ予約日の前日16:00までに送付ください。
2セッション目 (インタビュー演習)	1セッション目で指摘したポイントの整理（主に話す内容の指導）
3セッション目（※） (インタビュー演習)	1・2セッション目以外のインタビュー対策（ボディーランゲージ・プレゼンスキル等指導）
4セッション目（※） (インタビュー演習)	3セッション目までの総合評価と復習
5セッション目 (インタビュー演習)	レジュメとの整合性確認・最終調整

各セッションはオンラインで実施します。ご自身でセッションを録画し、終了後の復習に活用されることをお勧めします。受験校によっては、面接官が出願書類を事前に確認したうえでインタビューを行います。その場合は、セッション前に出願書類一式をご用意ください。

受講料	出願インタビュー対策 5回パッケージ ¥159,500（税込） 個別指導 5回（※含む）
	出願インタビュー対策 3回パッケージ ¥99,000（税込） 個別指導 3回（※含まない） ・個別指導は1回 50分となります ・追加コンサルティングは、1回 ¥33,000（税込）です。
受講登録料	¥33,000（税込） ・当校コースに初めてお申込みの方のみ